



Roche ロシュ グループ

社長メッセージ

血友病 A の治療に新たな道を切り拓いた当社研究者 3 名の受賞を心から喜ばしく思います。血液凝固第 VIII 因子の機能をバイスペシフィック抗体で代替するという前例のない発想を生み出し、多くの困難を乗り越えて実現した、研究者の創造力とたゆまぬ努力に深い敬意を表します。また、治験にご参加くださった皆さまとそのご家族、血友病の基礎研究と診療に関する卓越した知見を提供いただき、共同研究を進めてくださった奈良県立医科大学をはじめとする医療関係者の皆さま、研究開発から製造、承認取得、販売に至るまでに携わったすべての関係者に心より感謝申し上げます。

血友病 A ではこれまで、家庭で週に複数回の静脈注射を行う負担や、第 VIII 因子インヒビター（抗体）の発現によってその後の治療選択肢が限定されるといった医療課題から、より負担が少なく、安心して継続できる治療法が求められていました。エミシズマブは、1 週から 4 週に 1 回※の皮下投与によって投与の負担を軽減するとともに、インヒビターの有無を問わず年間出血率を減少させ、血友病 A の方々とそのご家族に新たな日常をもたらしました。

医薬品の開発には長い年月が必要です。エミシズマブは着想から 17 年、膨大な数の抗体のスクリーニングや、商業製造を可能とした独自の抗体エンジニアリング技術の開発など、幾多もの困難を乗り越えてきました。当社には「世の中の役に立つくすりをつくる」という創業以来の志と、前例のない課題にも自ら考え、挑み続けるフロンティア精神があります。エミシズマブの創業の歩みは、この志と精神をまさに体現したものです。こうした前例のない取り組みを可能にするのは、当社にある、一人ひとりの社員が患者さんへの想いを胸に大胆に挑戦できる「環境」と、社員の可能性を信じてその挑戦を後押しする「文化」です。このような挑戦の積み重ねこそが、これまでにない価値を生み出すものと信じています。

また、この研究成果をヘムライブラという製品へと結実させ、世界中の血友病 A の方々に届けるまでの過程は、決して当社だけで実現できたことではありません。2002 年に開始したロシュ社（スイス）との戦略的アライアンスのもと、ジェネンテック社（米国）、当社の三社が、それぞれの強みを結集し、第 III 相のグローバル臨床開発、承認申請、販売を推し進めてきました。その結果、現在では 120 を超える国・地域で承認され、これまでに 3 万人を超える世界の血友病 A の方々に投与されています（2026 年 6 月末時点、グローバル累計）。

私たちはこれからも、独自の技術とサイエンスを軸に、様々なパートナーと共創し、革新的な医薬品とサービスを創出し続けてまいります。今回の 3 名の受賞が、世界で挑戦しているすべての方々に勇気を届け、新たな未来を切り拓く力となることを願っています。

※電子化された添付文書情報 ※関係部分を抜粋

4. 効能又は効果

○先天性血友病 A（先天性血液凝固第 VIII 因子欠乏）患者における出血傾向の抑制

6. 用法及び用量

〈先天性血友病 A（先天性血液凝固第 VIII 因子欠乏）患者における出血傾向の抑制〉

通常、エミシズマブ（遺伝子組換え）として 1 回 3mg/kg（体重）を 1 週間の間隔で 4 回皮下投与し、その 1 週間後（初回投与から 4 週間後）の 5 回目投与から以下のいずれかの用法・用量で皮下投与する。

- ・ 1 回 1.5mg/kg（体重）を 1 週間の間隔
- ・ 1 回 3mg/kg（体重）を 2 週間の間隔
- ・ 1 回 6mg/kg（体重）を 4 週間の間隔